**褥瘡（床ずれ）予防評価シ－トの運用について**

高齢者は要介護状態に伴う心身の機能低下、低栄養状態、疾患により活動性の低下に落ちることで、褥瘡の発生リスクは高まります。

朝倉介護保険事業者協議会では、褥瘡予防委員会を立ち上げ「褥瘡ゼロ」を目指し活動してきました。

令和2年に「朝倉介護保険事業者協議会・褥瘡予防研究会」で施設・居宅の介護支援専門員を対象にアンケ-ト調査を実施したところ、下記のような課題が出ました

・各事業所により、アセスメントや記録内容に違いがある

・家族指導が困難、協力が得にくい

そこで、在宅と施設（通所等）が連携し、情報の共有や共通認識を持ち予防・処置等を行い、家族支援・指導がしやすくなる、連携の為のツールを作成しました。

在宅療養生活を地域全体で支えていくために、褥瘡（床ずれ）予防評価シ－トの活用に、ぜひご協力ください。

※　家族の負担にならないように、事業所間で対応し多職種で協働する事を目指しています。

【目的】

・褥瘡（床ずれ）ができやすい人を早期発見する

・共通の評価表を活用し、多職種で褥瘡予防・改善に向けた連携を図る

・ＯＨスケ－ルを用いてリスク評価を行い、適切なマットレス選定を行う

・本人、家族に根拠を持って説明できる

【実施時期】

・初回アセスメント時（全員）

・モニタリング時

・再アセスメント時（状態変化時に追加して使用）

【利用施設・職種】

・介護保険事業所・施設

・介護支援専門員・看護師（施設・訪問看護）・福祉用具専門相談員・介護職員等

【研修の実施】

・褥瘡の基礎知識・ＯHスケ-ルとは・床ずれ防止用具とは（種類と選定の仕方）等の研修を実施し、スキル向上を目指します

朝倉介護保険事業者協議会/朝倉在宅医療連携拠点　２０２２年７月